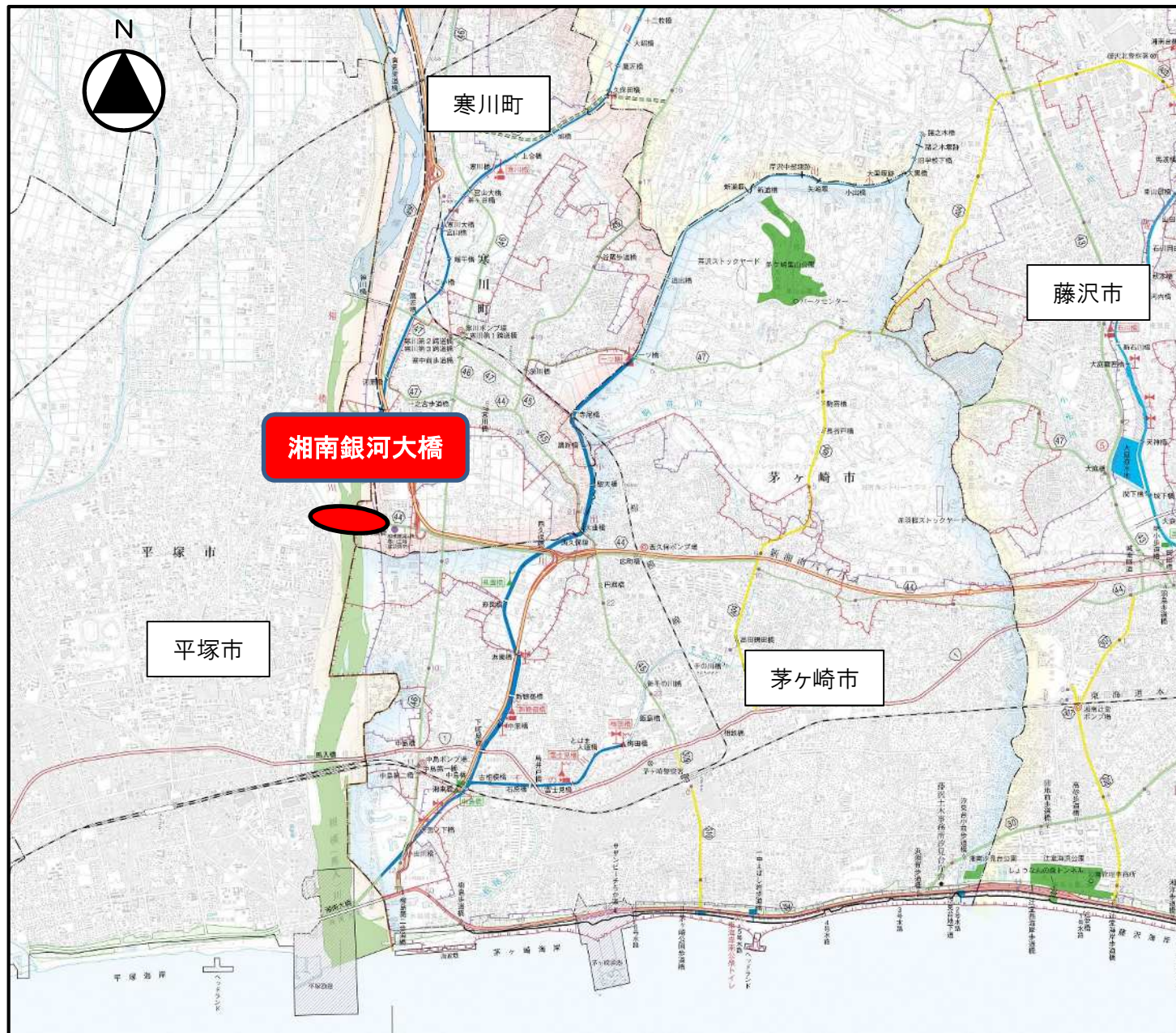


## 位置図



### <藤沢土木事務所管内の取組>

- 第1ステージの対象となる橋りょう11橋の対策が平成24年度までに完了しています。
- 第2ステージの対象となる橋りょう10橋のうち、緊急輸送道路上にある8橋の対策を優先して取り組んでいます。現在、6橋の対策が完了し、2橋（湘南銀河大橋、鵜沼橋）の耐震化に取り組んでいます。



神奈川県

# しょうなんぎんがおおはし 湘南銀河大橋 耐震補強工事

県道44号（伊勢原藤沢）橋りょう補修事業



P2主塔

令和6年2月撮影



藤沢土木事務所 道路維持課  
藤沢市鵜沼石上 2-7-1 (藤沢合同庁舎内) 〒251-0025  
TEL 0466(26)2111 (代表) 令和6年11月

大規模災害時における迅速な救命救急活動や復旧支援活動を支える災害対応力の強化

藤沢土木事務所



## 事業の目的

県道44号(伊勢原藤沢)は、伊勢原市と藤沢市を結ぶ延長約17kmの主要地方道路で、このうち、国道129号から県道45号(茅ヶ崎中央インター交差点)までの区間は4車線で整備され、地域を支える大動脈として機能するだけでなく、圏央道にアクセスする上でも重要な役割を担っています。また、この区間は、災害時の第一次緊急輸送道路にも指定されており、平時・災害時を問わず、道路ネットワークを確保するうえで、特に重要な区間となっています。

このうち湘南銀河大橋は、一級河川相模川を跨ぎ、平塚市と寒川町を結ぶ延長約520mの橋りょうで、最新の耐震基準を満たしていないことから、耐震補強工事(第2ステージ※)を実施しています。

※ 県では、阪神淡路大震災を踏まえ、大地震の際に大きな被害を受ける恐れのある橋りょうの耐震化(以下、第1ステージ)を平成24年度までに完了しました。現在は、大きな被害を受ける恐れは少ないものの、局部的な損傷が発生する可能性のある橋りょうの耐震化(以下、第2ステージ)に取り組んでいます。



補強前の状況 (P2 主塔内部)

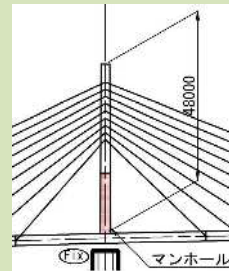


補強後の状況 (P2 主塔内部)

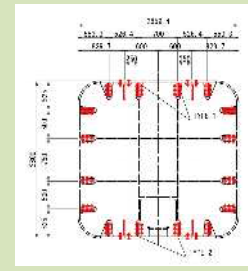
## 事業の概要

- 路線名 県道44号(伊勢原藤沢)
- 事業区間 平塚市四之宮～寒川町田端
- 橋りょう名 湘南銀河大橋
- 橋りょう諸元  
橋長: 520.3m 幅員: 25.8m (4車線)  
形式: 単純鋼床版箱桁橋+3径間連続鋼斜張橋  
竣工: 平成10年(1998年)  
基準: 平成2年(1990年)道路橋示方書
- 交通量 25,500台/日(R3センサス)
- 事業年度 令和4年度～令和10年度(予定)
- 耐震補強工法
  - ・主塔補強工 N=2基(P2、P3)
  - ・支承受換工 N=2基(A1、P1)、橋脚巻立工(RC巻立工法)N=3基(P1、P2、P3)
  - ・制振装置設置(P1、P3、A2)、橋台せん断補強(A2)

主塔補強一般図



配置図



断面図

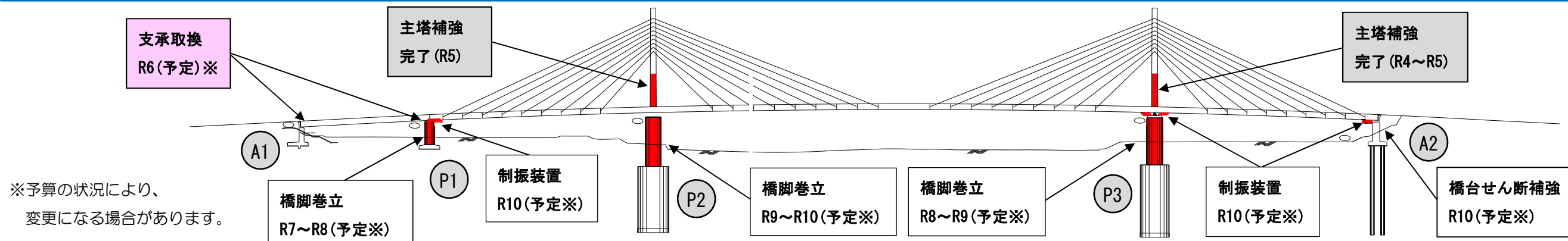


施工状況 (P2主塔)



施工状況 (P3主塔)

## 側面図



## 平面図

